日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRSj NEWS

PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN

2014年7月

NO. 254

TOPICS

「理事長就任にあたって」
(公社)日本パブリックリレーションズ協会　理事長　近見　竹彦
MESSAGE　P3

「副理事長・常務理事・理事・監事ごあいさつ」
MESSAGE　P4

「広報PRアカデミー2014
「PRプランナー1次試験対応講座」受講受付中」
ATTENTION　P9

再掲「第15回PRプランナー資格認定検定試験
7月18日まで1次試験受験予約締切間近！(7月18日まで)
ATTENTION　P10

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号　六本木ヒルズノースタワー5F
電話(03)5413-6760　ファックス(03)5413-2147
URL　http://www.prsj.or.jp/

関西支部　〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002　ファックス(06)6344-3005

発行人:近見　竹彦

7月号　目次

7月～8月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「理事長就任にあたって」	3
〃	「副理事長・常務理事・理事・監事ご挨拶」	4
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2014 「PRプランナー1次試験対応講座」受講受付中」	9
〃	再掲「第15回PRプランナー資格認定検定試験　1次試験受験予約締切間近！」	10
BULLETIN(活動報告)	「第10回PRプランナー交流会を開催」	12
〃	「2014年度第1回「なでしこカウンシル」開催」	13
〃	「特別国際セミナー開催報告　ホフマン　エージェンシー　CEO　ルー　ホフマン氏」	13
VOICE of PR Planner	「企業市民としての意義を伝え、ロイヤルティの醸成に貢献したい」	14
REPORT(講演レポート)	「第156回定例研究会　「WBS」のリニューアルがめざす経済報道の方向性」	16
PR TREND(PRトレンド(関西)	「「大阪の陣」から400年　大阪の魅力を国内外に発信する「大阪の陣400年天下一祭」	17
協会掲載記事	「PRSJ　in　Media　7 月」	20

7月～8月スケジュール

広報PRアカデミー2014 **「PRプランナー3 次試験対応講座」**	日　時 会　場	： ：	7 月 2 日(水)、8 日(火)　いずれも 19:00～21:30 六 本 木 アカデミーヒルズ 49
第 11 回企業部会フォーラム **（企業部会）**	日　時 会　場 講　師 テーマ	： ： ： ：	7 月 7 日(月)　18:30～21:00 六本木ヒルズクラブ ㈱TBSテレビ　メディア戦略室　担当局次長　大山寛恭氏 「TBSの成長戦略 ～新たなメディアツールとの連携によるテレビ価値の再構築」
広報PRアカデミー2014 **「PRプランナー1 次試験対応講座」**	日　時 会　場	： ：	7 月 16 日(水)、23 日(水)、30 日(水)、8 月 6 日(水) いずれも 19:00～21:00 六 本 木 アカデミーヒルズ 49
会員納涼懇親会	日　時 会　場	： ：	7 月 16 日(水)　18:30～ 読売新聞東京本社　32F　ラウンジ
第 14 回PRプランナー資格認定 **検定 3 次試験**	日　時 会　場	： ：	7 月 26 日(土)　12:25～16:00 富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター(東京) 富士通ラーニングメディア関西ラーニングセンター(大阪)
第 158 回定例研究会	日　時 会　場 講　師 テーマ	： ： ： ：	7月 30 日(水)　12:00～14:00 六本木アカデミーヒルズ 49 朝日新聞東京本社　文化くらし報道部記者　大嶋辰男氏 「朝日新聞の土曜版『be』が創るユニークな世界 ～じっくりと週末に楽しめる魅力的な紙面を探る～」
第 15 回PRプランナー資格認定 **検定 1 次試験**	日　時 会　場	： ：	8 月 24 日(日)　10:20～12:00 青山学院大学　青山キャンパス(東京) 毎日インテシオ(大阪) AP名古屋(名古屋) 北海道建設会館(札幌)

7月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（７月度）	日　時	：	７月 ８日(火)　12:00～14:00
	場　所	：	六本木ヒルズクラブ
幹部会（７月度）	日　時	：	７月 ８日(火)　10:30～11:45
	場　所	：	協会会議室
教育委員会（７月度）	日　時	：	７月 15 日(火)　12:00～13:30
	場　所	：	協会会議室
資格委員会（７月度）	日　時	：	７月 31 日(木)　17:00～18:30
	場　所	：	協会会議室
交流委員会（７月度）	日　時	：	７月 24 日(木)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
広報委員会（７月度）	日　時	：	７月 ７日(月)　12:00～14:00
	場　所	：	協会会議室
顕彰委員会（７月度）	日　時	：	７月 ７日(月)　16:00～18:00
	場　所	：	協会会議室
企業部会幹事会（７月度）	日　時	：	７月 ４日(金)　17:00～ 18:00
	場　所	：	協会会議室
ＰＲ業部会幹事会（７月度）	日　時	：	７月 15 日(火)　16:00～18:00
	場　所	：	協会会議室

理事長就任にあたって

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事長　近見 竹彦

2 期 4 年にわたり日本ＰＲ協会の発展のために尽力をされた森前理事長の後を引き継ぐこととなり、その重責を実感いたしております。

ここ数年を振り返ってみますと、企業や団体が広報・ＰＲに寄せる期待が高まっているのを感じます。また、デジタル社会の到来とメディアの多様化を背景に、情報の受発信の手段が飛躍的に拡大し、ステークホルダーとのコミュニケーションにおいて、広報・ＰＲの価値が改めて評価されています。広報・ＰＲ業界にとって、このような追い風が吹く中、協会が次のステップを踏み出すための土台作りに貢献ができたらと考えております。

現在、ステークホルダーの信頼度や好意度が、企業の企業価値やマーケティング事業に大きな影響を及ぼすようになっております。その結果、「社会との良好な関係構築を通じて、より良い社会創りを目指す」という、広報・ＰＲのコミュニケーションに注目が集まり、経営戦略や事業戦略、マーケティング、コーポレートコミュニケーションの持続的成長において、広報・ＰＲが極めて重要な経営機能となりました。

このような環境変化の中、次世代の広報・ＰＲを担う広報・ＰＲパーソンが日々の研鑽を通じてより専門性を高め、社会に広く貢献していくことができるよう環境を整備することも日本ＰＲ協会が取り組むべき課題であると認識しております。

日本ＰＲ協会は、企業の広報・ＰＲ関係者、ＰＲ業、メディア、有識者等の方々から成り立っており、多様な視点で広報・ＰＲを見ることができることが特徴です。公益社団法人として、「我が国における広報・ＰＲの周知と普及促進および社会的地位の向上」と、「優れた広報・ＰＲ人材の育成と輩出」という 2 つの役割を果たせるよう、最大限の努力をいたしてまいる所存です。

理事・会員の皆様におきましては、引き続き、協会の運営にご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

副理事長・常務理事・理事・監事ご挨拶

副理事長　　山田　悦朗

昨年に引き続き、企業部会担当の副理事長を仰せつかりました。
企業部会では、会員相互の交流がより活発化し、お互い刺激を受けて、知見の広がりやスキルのレベルアップにつながるような活動を展開しております。具体的には直近の広報課題をテーマに外部講師を招いてお話を伺う「企業部会フォーラム」、企業の工場やショールームなどＰＲ施設を訪問し、その活用を中心にその企業の広報活動を学ばせていただく「広報活動研究会」、さらにはあまり外には言えないリスク広報事例などをオフレコで共有し、お互いのスキルを磨く「広報ゼミ」の 3 本柱で活動しています。
毎回 15 人から 30 人程度の方が参加し、活動はまさに、様々な企業、団体の広報担当者の異業種交流会そのものです。
毎回開かれるイベント後の懇親会も大変盛り上がりますので、是非活動に参加し、楽しんでいただきたいと思います。各イベント運営をボランティアで支えてくださる幹事も募集中です。

副理事長　　渡邉　幹夫

昨年に引き続き副理事長に就任し、広報委員会を担当いたします。
会員の皆さまはもとより、公益社団法人として広く広報の普及啓発を行うために広報委員会を刷新しました。
具体的には広報委員会の下にあった 2 つの小委員会を廃止して「広報委員会」に一本化、実行組織として「企画会議」を新設し、Ｗｅｂ １ｓｔの情報公開を原則に鮮度の高いタイムリーな情報発信を目指します。「広報委員会」は各委員会・部会から選出いただいた「広報担当委員」で構成され、その情報をもとに、広報計画を立案します。「企画会議」は、メディア・コンテンツ・ＩＣＴなどのエクスパートの方々に「企画委員」として参加いただき、インプットされた情報を基に、最適なコミュニケーション方法を選択してアウトプットします。　その他「オピニオンリーダー」「メディアリレーションズ」「アドバイザリーボード」などの新たな仕組みを構築・導入して参りますので、ご協力とご支援をお願いいたします。

副理事長　　菊地　彰夫

近年、経済や社会の変化は一段と激しく、企業や団体を取り巻く経営環境も大きく変容しています。加えて情報通信技術の進展とソーシャルメディアの普及等を背景に、広報・ＰＲは大きな転換点を迎えています。
当協会は公益社団法人として、優れたＰＲパーソンの育成、広報・ＰＲの普及と社会的認知の向上、広報・ＰＲを通じた社会への貢献に向けた取り組みが期待されています。私はこの度、協会理事に再び選任され副理事長を拝命、教育委員会委員長の大役を担うこととなり、身の引き締まる思いです。
教育委員会は、広報・ＰＲの知識の習得、最新のビジネストレンドや情報環境の理解、有識者やメディア関係者とのネットワーク形成等、様々な研鑽機会を提供しています。協会として社会の期待に応え、会員の方々が当委員会の活動を通じて成果と手ごたえを感じていただけるよう、全力で取り組んで参ります。よろしくご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

副理事長　　辻田　邦彦

組織委員会、交流委員会を経て、3 期目の今期はＰＲ業部会を担当することになりました。
これまでも会員を対象に、学びと交流の場を提供するのが、課せられた大きな役割でした。ＰＲ業部会はこれをＰＲ業関係者に限って行うもので、ＰＲ並びにＰＲ業の現在の立ち位置と今後の方向性を提示することで、ＰＲ・ＰＲ業の発展・繁栄に寄与するのが主な任務ではないかと考えています。そのため、中堅ＰＲパーソンのための「ＰＲスキル研究会」に加えて、今期は特に「ＰＲ経営者懇談会」を年数回実施していきたいと思います。
この他、調査、出版、コンサルタント制度など継続的な課題がありますが、これらについてもＰＲ経営者の経営戦略に、これまで以上に身近で有用なものにしていきたいと思います。
経営者の皆様、ご期待していただくと共に、積極的にご参画いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

常務理事　　中里　好宏

今期も引き続き常務理事を務めさせていただくこととなりました。
これまでも会員の皆様には協会活動に多大なご協力とご支援を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今期も公益法人として、会員のみならず広報に携わる全ての方々のスキルアップを目指して各種講座やセミナーの充実を図るほか、協会事業の柱の 1 つである「ＰＲプランナー資格制度」をより魅力ある資格とするためにＰＲプランナー取得者を対象としたスキルアップ講座「ＰＲプランナーフォーラム」を新設、ＰＲプランナー資格者への支援施策を強化してまいります。
会員限定の事業と合わせ今まで以上に「魅力ある協会」「加入したくなる協会」を目指して、今後も微力ではございますが尽力させていただく所存です。また、公益法人として透明性の高い協会運営にも努めてまいりますので、今後とも協会になお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理　　事　　市瀬　朱実

当協会理事として、日本におけるＰＲのいっそうの普及と国際的な視野と豊かな見識を持って活躍するＰＲプロフェッショナルの育成に、引き続き全力で取り組み、当協会の一層の発展に尽力する所存です。
また、交流委員会委員長として、各国大使館や国際機関などとの対外的な交流により当協会の認知向上や会員の知見に繋がる企画、会員相互の交流により協会活性化に繋がる企画、さらに女性会員のための企画など、積極的に活動して参ります。

理　　事　　江良　俊郎

このたび、4 年ぶり 4 期目の理事を拝命いたしました。
広報活動の重要性は企業でも国家でもますます重要になっておりますが、プロフェッショナルな人材の育成という面でも、当協会の役割は重要です。引き続き、当協会の教育研修・資格制度の魅力度向上、そして優れた広報手法やスキルの開発など、日本の広報業界のレベルアップについても、微力ですが貢献したいと存じますので、なにとぞご指導のほど、よろしくお願いいたします。

理　　事　　小西池　透

この度、2 期目の理事に就任し、引き続き関西部会を担当させていただくことになりました。
関西部会では、企業の広報・ＰＲ活動を取り巻く環境が大きく変化する中、会員の皆様のニーズも踏まえながら、地域特性を活かした関西ならではの事業の企画・推進と情報発信に力を注いでまいりたいと考えております。
関西部会の伴部会長ならびに村田事務局長とも十分に議論を重ねて精一杯努めてまいりますので、皆様のご理解とご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理　　事　　金野　祥治

この度 2 期目の理事に就任し、顕彰委員会を担当することになりました。
広報活動の重要性は以前にも増して高まっておりますが、現実問題として、どうレベルアップすれば良いのかという点に悩みを抱えている人が多いのではないでしょうか。その意味で、ＰＲ協会の活動にもっと多くの人が接点を持つことが必要だと考えております。広報・ＰＲの社会的認知を高め、我が国における広報活動の質的向上を図り、広く社会に寄与するという当協会の理念を実現するため、「ＰＲアワードグランプリ」や「日本ＰＲ大賞」といった顕彰の場を活かしていきたいと思っております。
今後ともよろしくご支援、ご指導のほどお願い申しあげます。

理　　事　　境　　信幸

ＰＲの世界に飛び込んではや 30 年が経ちますが、近年ソーシャルメディアの台頭、急激なビジネスのグローバル化、広告とＰＲのグレーゾーンの拡大等々で、ＰＲ手法とその成果、ＰＲビジネスを取り巻く環境やＰＲ会社の立ち位置の変化、この変化を日々実感しております。
このようなＰＲの変化の時代に、協会理事に就任させていただくことの責任に身の引き締る思いです。協会発展のため微力ながら尽力させていただく所存でございますので、よろしくお願い致します。

理　　事　　清水　正道

我々は、大変革期を迎えた日本社会のニーズに応えているのだろうか?
この 1 年間、理事として、研究者として自問自答してきました。たどり着いたのが、企業・団体等との「協働の仕組み形成」であり「コミュニケーション・ニーズへの対応」でした。あるべき論や提言レベルでは隔靴掻痒。経営課題に対応した施策・手法の開発・普及にとどまらず、社会からの要望にも応えたいと、走りながら考えています。
皆さまとともに働き、ともに学ぶ時間を創造したいと思います。

理　　事　　杉山　順子

ＰＲ協会会員になって良かったと思っていただくには、様々ある勉強会・イベントに参加していただくことと考えております。そこでは、情報を得るのみならず、人脈を形成していただくことが出来ます。その積極的な参加を促すためには、ＰＲパーソンにとって魅力ある企画を継続して立案、実行していくことがなにより重要です。
また、幹事として企画・運営に携わっていただくことは、協会内でのより親密なネットワーク作りに役立つことを皆様に理解していただけるよう、努めてまいりたいと思います。

理　　事　　鶴野　充茂

3 期目の理事として広報委員会を担当致します。
これまでＩＴ委員会委員長として協会のウェブサイト刷新や、動画配信、ネット上での講座受講を実現するなどＩＴインフラ強化に取り組むと同時に、ソーシャルメディア関連の教育プログラム等を企画・運営して参りました。今後は当協会がさらに開かれた存在へと飛躍できるような広報活動に取り組みます。新しい技術やサービスを組み合わせ、皆さんの業務に参考になり役立つ仕組みを作っていきたいと思います。
アイデアやご意見をお気軽にお寄せください。

理　　事　　冨岡　洋子

この度理事に就任いたしました冨岡です。
情報流通の仕組みが激変する時代にあって、広報・ＰＲの重要性がますます増していく環境の中、企業からの情報発信も、時代に合わせた形を様々に模索しています。
日本ＰＲ協会の活動を通じて、こうした課題に向けて、微力ながら貢献ができればと思っております。皆様のご指導、ご支援をいただきながら、精一杯つとめさせていただく所存ですので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

理　　事　　野村　武司

引き続きまして、資格委員会を担当させて頂くことになりました。
資格委員会の重要なミッションは次の 3 つと考えています。まずはＰＲプランナー試験の公正で円滑な運営。これは協会として、何よりも優先すべき事項だと認識しています。その上で、このＰＲプランナーの社会的認知度を高めること。そして、時代の変化を見据え、より良い資格にするための制度・内容等の見直しです。
これらの目標に向け、全力をあげて取り組んでまいりますので、ご支援の程、よろしくお願い致します。

理　　事　　伴　　一郎

関西部会の理事として、3 期目を迎えることとなりました。
現在、大阪本社の多くの企業が東京へシフトしてゆく中、関西の特性を生かしつつも、さらに、グローバルな視点で取り組んでいきたいと思っております。また、例会後の交流会を楽しみにして頂いている会員様も多いため、もっと交流会も工夫していきたいと思います。
小西池理事、村田事務局長と共に、会員増強はもとより、関西における当協会のさらなる認知・発展に努力していきますので、どうぞ、皆様のお力添え、よろしくお願い致します。

監　　事　　岩渕　昭子

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会の監事として、再びご承認いただきましたことは、大変名誉なことと思っております。
私の専門は管理会計ですが、最近の 10 年間は主にＣＳＲ（企業の社会的責任）とコーポレート・レピュテーション（企業の評判）について研究しています。監事としての職務を果たすことで、協会に何らかの貢献をしていきたいと考えております。
どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

監　　事　　西谷　武夫

安倍さんほど情報発信の重要性を認識し、かつ実行する首相は初めてではないでしょうか。企業のコミュニケーションへの関心もこれまでになく高まっております。こうした中で、日本ＰＲ協会が果たすべき役割は、ますます重要であります。
微力ですが、公益社団法人日本ＰＲ協会の社会的使命達成のため、監事としての役目をしっかり果たしたいと思います。

監　　事　　坂本　英一

この度、監事に就任致しました坂本です。
2012 年より当協会理事を 1 期 2 年勤め、この度、監事を仰せつかることとなりました。理事在任中は、諸先輩のご指導のもと教育委員会、顕彰委員会等で様々な協会活動に触れ、その社会的意義と、公益社団法人としての責任の大きさを実感致しました。
今回は、立場を変え、監事として当協会、及び会員の皆様方のお役に立てるよう努力してゆく所存です。
引き続き、何とぞよろしくお願い申し上げます。

ATTENTION

広報PRアカデミー2014

「PRプランナー1 次試験対応講座」受講受付中

---PRプランナーの登竜門　1 次試験突破に向けた最短経路---

教　育　委　員　会

8 月 24 日予定の第 15 回ＰＲプランナー資格認定 1 次試験。当協会では、本試験の受験者を対象とする「ＰＲプランナー1 次試験対応講座（2014 年夏期）」の受講を受付けています。

今夏の 1 次試験対応講座は、7 月 16 日より 4 回にわたり、東京・港区の「泉ガーデンコンファレンスセンター」にて開講いたします。講座は、過去の試験で出題された問題に取り組む模擬試験形式で進められ、受講者は 1 次試験の形式や問題のレベル、時間配分を習得できます。模擬試験の実施後、問題と解答の解説を通じて、受講者は幅広い広報・ＰＲの各分野における基本的知識を深めることが可能であり、1 次試験突破の最短経路となります。

なお講座では、インターネットを利用した「Ｗｅｂ受講サービス」を提供します。Ｗｅｂ受講により講義の動画データのアーカイブを、パソコンやスマートフォーンを使用して時と場所を選ばず視聴することが可能です（アーカイブは 1 次試験終了後の 8 月 29 日まで視聴可能）。

講座の受講申込みは、協会Ｗｅｂサイト「セミナー/イベントを探す」の「ＰＲプランナー１次試験対応講座」のページにて受付けています。

http://event.prsj.or.jp/prp/1st-2014summer

■ＰＲプランナー認定１次試験対応講座の概要

日　程	講　座　内　容	講　師	受講料	申込締切
7 月 16 日（水） 19:00～21:30	・パブリックリレーションズの基本 ・企業経営とパブリックリレーションズ ・広報・PRマネジメント	（公社）日本パブリックリレーションズ協会　事務局次長 真部一善	**会場受講＋Web 受講** 一般 32,400 円 学生 19,440 円 PR協会会員 21,600 円 **Web 受講のみ** 一般 21,600 円 学生 19,440 円 PR協会会員 21,600 円	**会場受講＋Web 受講** **7 月 15 日（火）まで** **Web 受講** 講座開始後でも受付けますが、終了後の講座はアーカイブの視聴のみとなります
7 月 23 日（水） 19:00～21:30	・コミュニケーションとPR ・メディアリレーションズ ・マーケティングとPR	APCO Worldwide シニア・ディレクター 永井　昌代　氏		
7 月 30 日（水） 19:00～21:30	・行政・団体の広報活動 ・国際広報 ・企業と危機管理 ・経営倫理とプロフェッショナリズム			
8 月 6 日（水） 19:00～21:30	・インベスターリレーションズ ・エンプロイーリレーションズ ・ネットPR	（公社）日本パブリックリレーションズ協会　事務局次長 真部一善		

日本ＰＲ協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

予　告　**「広報・PR実務スキルアップ・シリーズ」3 講座を 9 月開講**

当協会では、広報・PR実務の経験者を対象とした「広報・PR実務スキルアップ・シリーズ」3 講座を 9 月中旬より開講します。3 講座は、「ニュースリリース強化講座」、「マーケティングPR強化講座」、「コンテンツ活用PR講座（仮）」です。講座の詳細と受講受付は 7 月下旬より協会の Web サイト「広報PRアカデミー2014」のページで行います。どうぞご期待ください。

再　掲

第 15 回「PRプランナー資格認定検定試験」
1 次試験受験予約締切間近！（7 月 18 日まで）

資　格　委　員　会

第 15 回となるＰＲプランナー資格認定検定試験 1 次試験（実施：8 月 24 日(日)）を、東京・大阪、札幌、名古屋会場にて実施します。

日本ＰＲ協会が認定する「ＰＲプランナー資格認定制度」は、広報・ＰＲの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は 1 次から 3 次にわたり、さらに書類審査を経て、広報・ＰＲに関する高い専門能力の保有を認定する「ＰＲプランナー」資格を取得することができます。本制度は 2007 年より発足しすでに 13 回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した 1,659 名のＰＲプランナーが一般企業、ＰＲ会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験予約申込は、7 月 18 日（金）までとなっておりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

＜ＰＲプランナー資格認定制度／検定第１次試験　実施概要＞

試験日	2014 年 8 月 24 日（日） 試験は東京・大阪・札幌・名古屋会場ともに 8 月 24 日（日）午前中に同時実施・終了する予定です。
募集定員	東京：400 名・大阪会場：80 名・札幌会場：60 名・名古屋会場：60 名
受験応募・申込方法	資格制度Ｗｅｂサイトで受験予約を行った上で申込書を郵送
受験予約期間	2014 年 6 月 2 日（月）～7 月 18 日（金）
申込書送付期間	2014 年 6 月 3 日（火）～7 月 25 日（金）＜必着＞
受験票送付	2014 年 8 月 8 日（金）発送
合否通知送付	2014 年 9 月 5 日（金）発送 ・受験申込書にご記入いただいたご住所に、合否通知を発送いたします。 ・合格された方には、2 次試験ならびにＰＲプランナー補認定申請のご案内を、メールでも 9 月 5 日（月）にお送りします。

＜試験時間＞

０９　時　３０　分	各試験会場に入館できます
１０　時　２０　分	指定の教室・座席にご着席ください
１０　時　２５　分	注意事項伝達・試験問題配布
１０　時　４０　分	試験開始
１２　時　００　分	試験終了

※資格検定試験の詳細は、以下ＵＲＬの協会ＰＲプランナー資格 Web サイトをご覧ください。

http://pr-shikaku.prsj.or.jp/

受験会場

第 15 回ＰＲプランナー資格認定検定試験（1 次試験）の験会場は、東京・大阪・札幌・名古屋の下記会場となります。試験開始時刻の「20 分前」までにお越しになり、指定の座席にご着席ください。

東京会場：青山学院大学 青山キャンパス
渋谷区渋谷４－４－２５

・ＪＲ山手線・埼京線、東急東横線・田園都市線、京王井の頭線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線「渋谷駅」徒歩 10 分
・東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」徒歩 5 分

大阪会場：毎日インテシオ
大阪市北区梅田３－４－５

・ＪＲ大阪駅から西梅田地下歩行者道を通り、徒歩約 15 分
・阪急、阪神、地下鉄各駅から西梅田地下歩行者道を通り、徒歩約 15 分。

名古屋会場：ＡＰ名古屋
名古屋市中村区名駅４－１０－２５

・「名古屋駅」徒歩約 5 分

札幌会場：北海道建設会館
札幌市中央区北４条西３－１

・ＪＲ札幌駅南口より徒歩 3 分
・地下鉄さっぽろ駅 12 番出口（西武）13 番出口（東急）より徒歩 3 分
・ＪＲバス、中央バス 駅前ターミナルより徒歩 1 分

第 10 回ＰＲプランナー交流会を開催
27 名の有資格者が参加

資　格　委　員　会

今回のＰＲプランナー交流会は、6 月 28 日（土）に、月島駅から墨田川方向に向け徒歩 2 分にある「月島・スペインクラブ」で開催いたしました。倉庫を改装して造られた店内は吹き抜けとなっており、1 階は名物料理の 30 人前の大鍋パエリアや、フラメンコショー・ステージなどがあり、2 階はスペインの美術品に囲まれた落ち着いた客席となっています。交流会は、13 時から始まる第 1 部のワークショップを 2 階で、14 時半からの第 2 部の懇親会を 1 階のフラメンコステージで行い、27 名のＰＲプランナーが参加され、ワークショップと懇親会を通じて相互の交流を深めました。

ＰＲプランナー交流会は、一般企業や各種団体、ＰＲ/ＰＲ関連会社等の様々な舞台で活躍するＰＲプランナー資格取得者が、自己研鑽と親睦を目的として、企業・団体や業界を超えて交流する催しです。2009 年 11 月の第 1 回以降、約半年おきに開催され今回で 10 回目を迎えています。

第 1 部のワークショップでは、株式会社コンセントコンテンツストラテジーチーム ディレクターの千々和淳氏（チヂワ　ジュン）氏が「コンテンツストラテジーの実践～ＰＲプランニング活動への活用ワークショップ～」と題し、講師として登壇しました。

内容は、マーケティング領域において近年話題になっている「コンテンツストラテジー」（「コンテンツ・マーケティング・ストラテジー」などとも言う）を、ＰＲプランニング活動においてどのように実践すべきか、というその一端を、企業戦略に基づき編成されるコンテンツの効果検証･方針策定をワークとして行い、戦略とそれにひもづく検証の重要性を発見するというプロセスを短時間で体験するワークショップ形式で実施しました。

第 2 部の懇親会は、Twitter Japan 株式会社の薗部 誠弥氏より乾杯のご挨拶をいただいた後、開始しました。会場ではＰＲプランナー同士の交流の輪が随所にでき、中締めを過ぎてもなお、盛り上がりをみせていました。また、今回は初めての土曜日開催ということもあり、皆様のご都合を心配しましたが、ご参加された方の意識は非常に高く、とても活発に交流されていました。

ご協力いただきました株式会社ミラ・ソル 田代様をはじめ、関係者の皆様、大変ありがとうございました。今後も、ＰＲプランナー交流会は定期的に開催します。

なお次回のＰＲプランナー交流会は 11 月に開催する予定です。

会 員 限 定

2014 年度第１回「なでしこカウンシル」開催

交 流 委 員 会

日本ＰＲ協会の交流委員会では、女性会員を中心に、広報に携わる女性の研鑽や交流を目的に、「なでしこカウンシル」を開催しています。

今年度１回目は、6 月 13 日（金）に読売新聞東京本社にて、読売新聞の記者、そして㈱プランタン銀座の常務取締役を勤められ、メディア側と企業側の両方のご経験のある、読売新聞東京本社　編集委員 永峰好美氏をお招きし、「広報」というキャリア～メディア側と企業側の双方を経験してというテーマにてご講演頂きました。

特別国際セミナー開催報告
ホフマン エージェンシー CEO ルー ホフマン氏
「消え行く境界線　～広報とデジタルマーケティング」

交 流 委 員 会

2014 年 6 月 20 日に、東京都千代田区の日本記者クラブ（日本プレスセンタービル）9 階「宴会場」において、特別国際セミナーを開催しました。当日は、シリコンバレーに本社を置くグローバルなＰＲ会社のホフマン エージェンシー ＣＥＯのルー ホフマン氏が登壇し、「消え行く境界線　～広報とデジタルマーケティング」と題し講演を行いました。同セミナーには 57 名の広報担当者が出席し、質疑応答では活発な議論がなされました。

企業市民としての意義を伝え、ロイヤルティの醸成に貢献したい

アイ・エム・エス・ジャパン株式会社
山口　司郎

アイ・エム・エス・ジャパン株式会社で広報部に所属しております、山口司郎と申します。
この度、川崎重工業株式会社　坂本友紀さんからバトンを引き継ぎました。2007 年にＩＭＳジャパンへ入社し、2009 年からマーケティング・コミュニケーションを経て、広報担当として現在に至っています。昨年、無事にＰＲプランナー試験に合格しました。ＰＲプランナーの受験動機は、業務に埋没しがちだった私に上司の薦めもあり、ここで広報業務の全体像をとらえ直そうと一念発起しました。担当業務の位置づけや企業における広報機能を再確認してみようと挑戦した次第です。

ＩＭＳという社名は Intercontinental Marketing Services の略で一般的に聞き慣れないかもしれません。現在 100 カ国以上に拠点を持ち、半世紀以上にわたり医薬品の流通情報を集積し、お客様へ市場データとしてご提供してきました。ＩＭＳのデータは、何の処方薬が、いつ、どこで、どれくらい流通したのかをほぼ網羅的に把握しています。医薬品産業は、各専門医に合わせてより高度な情報提供と使用実態のフィードバックを繰り返し、医薬品の適正使用を推進することで、病気で苦しむ患者さんを助けています。その活動を最適にするための市場分析、戦略立案、組織構築、活動の検証・評価など、ビジネスの様々な意思決定やＰＤＣＡにＩＭＳのデータをご活用いただいています。
近年は、市場データにテクノロジーやコンサルティングなどのサービスを加えて、より一層ヘルスケアへの貢献度を高めたいと願っています。2014 年は日本法人設立 50 周年を迎え、さらにこの 4 月に米国本社がＩＰＯとなり、国内外でＩＭＳにとってエポックメイキングな年になりました。

私の主な担当業務は、社内コミュニケーションでは、社内報の編集兼記者としてコンテンツの企画取材掲載を担っています。社内の新しい取り組みやプロジェクトなどを「業務」と「ヒト」の目線に分けて取り上げています。年間 20 本以上の記事がありますので、取材調整、記事化にかなりのリソースを割きます。「プロジェクトＸ」や「プロフェッショナル　仕事の流儀」的な要素を持たせつつ、この情報発信で人や組織に対するロイヤルティが高まること、ビジネスの理解・周知が深まることを意識しています。社外コミュニケーションでは、メディアリレーションズも強化しています。メディアの方々にとってＩＭＳの魅力はやはりデータです。記事の根拠となる市場規模、医薬品や製薬企業の売上ランキングなどに活用されますが、今後は企業市民として価値提供となる情報発信も必要だと思っています。メディアリレーションズに際しては、企業活動の社会的意義を熟慮し、客観的な情報提供になるよう心がけています。メディアセミナーへのご参加や日頃のお問合せ対応も貴重な機会として、今後の関係構築につなげています。例えば、企業情報やスポークスパーソンのプロフィールをご提供し、取材のきっかけ作りや勉強会の開催など、ＩＭＳと言う企業を知っていただくための機会創出を図っています。

企業や社員に関する記事掲載で、社内へ還元されるＰＲ効果を実感するようになりました。身近な人が取り上げられることで、社内でも連鎖的に記事が共有され、職場の誇り、社員の関心は高まっていきます。社員のご家族にとっても会社への親しみや信頼がわいてくるでしょう。私にとっては、このような社内コミュニケーションへの波及も成長や挑戦の糧になっているといえます。

誠にお恥ずかしながら、現時点でＰＲプランナーとして胸をはれる成果はないのですが、試験準備段階から現在に至るまで、多くの気づきや学びをいただきました。例えば対策講座で、記事から遡ってのリリース作成、再三のＰＲと広告を混同していないかというチェックは、意識を変えることに大きく影響しました。広告にならないようにと言う留意点は、企業価値を公益性、新規性、そして医療貢献とクロスオーバーしてとらえる視点が養われたと思います。グループ演習では、異業種の受講生の方々との意見交換し、貪欲で前向きな時間だったと記憶しています。この新たな仲間との出会いも大きな財産になりました。

ＰＲプランナーとはつくづく豊かな人間力が必要と痛感するのですが、具体的に書くと自分でハードルをあげてしまいますので、このバトンはまさに豊かな人間力で尊敬できるＰＲプランナー、株式会社オリコムの川野辺哲郎さんに託したいと思います。気の利いた「VOICE of PR Planner」をお聞かせくださる筈･･･と川野辺さんのハードルを上げつつ、次回へ続きます。

会 員 限 定

第 156回定例研究会

『WBS』のリニューアルがめざす経済報道の方向性
～『自分につながる経済ニュース』のこれから～

講師：テレビ東京
報道局ニュースセンター副センター長 兼 解説委員
大信田 雅二氏

第 156 回（5 月度）は 5 月 21 日（水）に六本木アカデミーヒルズで開催しました。
講師は、テレビ東京 ニュースセンター 副センター長 （元ワールド・ビジネス・サテライト（ＷＢＳ）プロデューサー）大信田雅二氏。テーマは「『ＷＢＳ』のリニューアルがめざす経済報道の方向性 ～『自分につながる経済ニュース』のこれから～」。
参加者は 68 名でした。

＜コラム　関西の風＞

「大坂の陣」から 400 年 大阪の魅力を国内外に発信する 「大坂の陣400 年天下一祭」

株式会社電通 関西支社
統合ソリューション局長
徳永 真一郎

今年は、大坂冬の陣（1614 年）から 400 年。さらに、2015 年は大坂夏の陣（1615 年）から 400 年に加え､大阪城まちづくり 400 年、道頓堀川開削 400 周年、天王寺動物園 100 周年など、都市建設の歴史の節目が重なり、大阪の都市魅力創造のシンボルイヤーと位置づけられています。

これを受けて、大阪市、大阪府や関係団体に加え、マスコミ・鉄道事業者等の企業のほか、経済界等の参加により、大坂の陣 400 年プロジェクト実行委員会が立ち上がり、2014 年・2015 年の 2 年間、「大坂の陣 400 年天下一祭」と銘打った事業が推進されます。「大きく夢見るまち、大阪」をキャッチフレーズに、天下一の心意気をもって、大阪城公園を中心に、市内及び府域はもちろん、府外にも数多く存在する大坂の陣ゆかりの地などにおいて開催される一大フェスティバル。従来にないアイデアで、新しい大阪の姿を国内外に示すプロジェクトです。

大阪城を舞台に戦国時代へタイムスリップ！ 「大坂の陣 400 年天下一祭　大坂冬の陣」

2014 年 10 月 1 日（水）～12 月 31 日（水）に開催する「大坂冬の陣」では、大阪の豊かな歴史や文化、あるいはこれからの大阪の姿を楽しみながら学べるフェスティバルを目指します。主会場となる大阪城公園においては、ＡＲや 4K映像などの最新技術で、子どもたちや歴史ファンから海外のお客様まで、誰もが楽しみながら学べる“エデュケーショナル＆エンターテインメント性の高いイベント”を展開します。

〈主なイベント・事業〉

「大坂の陣ＡＲ」

大阪城天守閣の展望台から専用タブレットを現代のまち並みにかざすと、大坂の陣の軍勢配置や人物エピソードなどが浮かび上がり、アニメーションの歴史ドラマ仕立てで、史実を学ぶことができます。

「大坂の陣AR」

「武将体験ｈａｌｌ＆ＳＡＭＵＲＡＩミュージアム」

海外からのお客様や子供たちにもわかりやすく、楽しいエンターテイメント空間。

最新の映像技術で再現した甲冑姿の豊臣秀吉が来場者を出迎え、臨場感溢れる映像演出で当時の合戦の様子が体感できます。

「武将体験hall＆SAMURAIミュージアム」

そのほか「大坂の陣 400 年 西の丸ドーム」では、国内外のアーティストや文化価値の高い伝統芸能などのイベントが開催されます。

「大坂の陣400年 西の丸ドーム」

さらには、普段は立ち入ることができない大阪城の櫓（やぐら）の特別公開も行います。

また、2014 年春・夏には「大坂夏の陣」を開催することも決定しています（時期、詳細は未定）。

ＰＲ武将隊「大坂ＲＯＮＩＮ ５」も活躍！

大坂の陣で、豊臣軍の主力として奮戦した浪人 5 人衆である真田幸村、毛利勝永、長宗我部盛親、後藤又兵衛、明石掃部をキャラクターにしたＰＲ武将隊「大坂ＲＯＮＩＮ 5」を結成しました。

メンバーは、関西で活躍する若手の俳優集団「劇団Ｐａｔｃｈ」からの 4 人とテレビ番組のリポーターなどで活躍するタレントの永井礼佳さんを起用。

大阪府内各所で開催されるイベントなど、関西のみならず、全国に向けて活動します。また「大坂冬の陣」開催中は、会場内でのステージパフォーマンスなど、来場者へのおもてなしも行います。

（写真左より） 後藤又兵衛（吉本考志）、長宗我部盛親（岩﨑真吾）、真田幸村（井上拓哉）、毛利勝永（中山義紘）、明石掃部（永井礼佳）

大阪城を企業・市民の力で 世界に誇る歴史観光拠点に！

大坂の陣以降、大阪では多くの商売が生まれ、上方文化が育ち、町が栄えてきました。近・現代においても、さまざまな分野で世界を相手にビジネスを展開してきました。1931 年、現在の天守閣が大阪市民の寄付により復興されたように、この一大イベントを通じ、今あらためて企業や市民の力で大阪城を一大観光拠点とすべく整備し、国内外に発信していきます。

PRSJ in Media

● 6月1日（日）　『月刊広報会議』７月号

『月刊広報会議』７月号における当協会の連載コラムでは、企業部会の広報活動研究会が実施した「キッコーマンもの知りしょうゆ館」訪問が紹介されています。

広報活動研究会は、企業の公開施設を活用した広報・コミュニケーション活動を研究する取組みを定期的に行っています。
本号では、研究会のメンバーが千葉県野田市にあるキッコーマン食品野田工場の「もの知りしょうゆ館」を訪問し、しょうゆの歴史と同社の企業文化を紹介する展示等から同社の広報活動の現状を学んだことが紹介されました。
またこの訪問を通じて研究会のメンバーは、生活者とのリレーションシップや国際的な食文化の研究、食育や被災地支援などのＣＳＲ活動が同社のブランドに高い評価に結び付いていることを理解したことが特筆されています。

編集担当より

会員のみなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思いますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会
Ｅメール　mail@prsj.or.jp
ＦＡＸ　03－5413-2147

※　禁転載